



## 当社取締役会の実効性に関する評価結果の概要について

当社は長期的な競争力を維持し、更なる向上を図るために、適切な執行の監督と機動的な意思決定を両立できる取締役会を目指しています。この度、当社は取締役会の実効性を高め、企業価値の向上を図ることを目的として、2023年4月期における当社取締役会の実効性について分析・評価を行いましたので、以下の通り結果の概要を公表いたします。

### 1. 分析・評価の方法

自己評価・分析につきましては、アンケート方式にて実施いたしました。2023年4月開催の定時取締役会において、その内容を分析・審議し、取締役会の実効性確保の状況を確認いたしました。併せて今回の結果を踏まえた対応について、取締役会において審議及び確認を行いました。

### 2. 評価項目

全ての取締役・監査役に対するアンケート(選択式設問および記述式設問。合計40問)。設問はコーポレートガバナンス・コードの改訂内容等を踏まえつつ、外部機関の助言を得ながら作成しました。

- ① 取締役会メンバーの構成について
- ② 取締役会開催頻度について
- ③ 取締役会の議論について
- ④ 取締役会の付議事項について
- ⑤ 取締役会の役割について
- ⑥ 取締役・監査役に対する情報提供について
- ⑦ 内部統制について

### 3. 分析・評価結果の概要

アンケートの結果等から、当社は、市場変更に伴うガバナンス強化に向けた体制整備を進め、コロナウイルス感染状況を考慮し、取締役会のリモート開催の定着や、子会社・関連会社の重要な議案については複数回の審議機会を設ける等、議論を活性化させる取組み等により2023年4月期における当社取締役会についても概ねその実効性が向上していることを確認しました。また、今後も更なる改善を要する事項について課題を以下の通り認識いたしました。

- ① 取締役会の構成におけるジェンダーを含めた体制整備
- ② 収益力、資本効率、ESG、サステナビリティに対応した経営戦略に関する議論の更なる充実

#### 4. 今後の対応

当社取締役会は、今回の評価結果を踏まえ、取締役会の実効性の更なる向上を図るため、以下の対応に注力してまいります。

- ① 取締役会の適正な構成するため、経営方針・戦略に求められるスキルマトリクスに基づき、適宜議論を重ねます。
- ② 中期経営のモニタリング、企業価値(非財務価値)向上の議論の機会を設け、社外取締役の議案に対する理解度を高め、マテリアリティ(経営における重要課題)の特定と戦略・方針・計画の審議の充実を図ります。
- ③ 各種審議の背景となる情報共有を目的に勉強会を実施、社外取締役の現場・工場等の見学会や社内外取締役の意見交換の機会を拡充します。

以上